

官民共創の新しいまちづくり協議会 議事概要

会議名	第 1 6 回伊那北駅周辺再生 WG			
開催日	2 0 2 6 年 5 月 1 9 日(火)			
開催時間	開会	18 : 30	閉会	19 : 30
開催場所	伊那市役所 2 階 打ち合わせスペース			
出席者				
協議会・WG メンバー	田畑和輝氏、笠井成樹氏、高橋明星氏、須永次郎氏			
事務局・職員	建設部都市整備課 辰ノ口課長補佐 企画部地域創造課 林主事			
関係者				
欠席者	北原俊文氏			
議事	1. 伊那北駅周辺再生WGの活動・社会実験について			

議事項目	概要	次のステップ
1. 伊那北駅周辺再生WG「第 10 回対話・つながり・実現の場」における確認		
・伊那北駅周辺再生WGの活動・社会実験について	○事務局 ・昨年度、駅前広場の利活用に関する「対話・つながり・実現の場」を 2 回開催した。また、10 月には伊那北駅周辺で「17 とりどり祭」の開催が予定されている。これらを踏まえ、今年度は駅前に大型テントを 1 か月程度設置し、駅前広場における屋根のニーズや活用方法を検証する社会実験を実施する。 ・地域交流施設の整備に向けたワークショップも並行して実施していく。 ・8 月 3 日（月）には、女子高校生を主な対象とした地域交流施設内のトイレに関するワークショップおよびコスメ教室を午前・午後の 2 回開催する。ワークショップへの参加をきっかけに、高校生にも駅周辺整備に関心を持ってもらいたい。 ・社会実験では、屋根空間の一時的なイベント利用にとどまらず、日常利用の促進も図り、多様な主体の利用実態を通じ、活用ニーズや可能性を検証する。 ・社会実験の実施には、内容検討、広報、利用者募集後の全体調整等が必要であり、ワークショップの開催等を通じた早期着手が重要となる。 ・実施予定時期である 10 月は、農産物や果物の収穫時期とも重なり、上伊那農業高校等でもマルシェ等の開催を計画している。	

	○事務局 ・イルミネーションの点灯、ベンチの設置、キッチンカーやフリーコーヒーを通じた交流機会の創出等、様々な日常利用の可能性を検証するとともに、高校生や地域の関わり代や自発的な活動の機会創出につなげたい。 ○WG メンバー ・高校生や地域住民に限らず、多様な人々が自身の得意分野を活かしながら関わることであれば、ワークショップ参加のハードルも低くなるのではないかと。 ・伊那市でも過去に市民企画として、セントラルパークで地域の飲食店から出前を取り、食事をしながら交流を図る取り組みが行われた事例もある。 ○WG メンバー ・地域でも多世代交流のイベントを実施している。料理体験等は1つのことをみんなで共有し、気軽かつ必然的に交流できる良い機会となっている。 ・社会実験は10月だけでなく冬季の実施も検討し、より日常的な利用実態の調査機会を設けたい。 ○WG メンバー ・駅前広場で焚火を囲み、温まりながら交流を促す試みも面白い。 ・社会実験期間中は駅周辺の利用者増加と滞在時間の延長が見込まれるため、仮設トイレを設置したい。 ○WG メンバー ・社会実験の実施そのものを市民に広く認知してもらうことが不可欠であり、効果的な周知手法と内容が重要である。市民の参画を促すことで、より多角的な意見収集につなげたい。 ・キッチンカー等の出店者を事前に募集し、広報することで、更なる利用者増加が期待できる。 ○WG メンバー ・社会実験だけでなく、通年でWG活動に参画してくれる人を募集してもよいのではないかと。 ○事務局 ・今後は社会実験に関する打ち合わせに加え、WGとして何ができるかという点についても議論を深めていきたい。	社会実験の実施に向けた具体案の検討
--	---	--------------------------